



A.A.M.T

秋臨技

だより

第102号

第102号

発行所
〒010-0013 秋田市南通築地1-1
ファーストワン築地2A
TEL・FAX:018(825)2116
E-mail:aamt-01@comet.ocn.ne.jp
一般社団法人秋田県臨床検査技師会事務所

発行人 藤田秀文
編集主幹 渡辺義孝
印刷所 石岡印刷所
秋田市手形十七流10-1
電話018(884)4771

目次

新年のご挨拶	1	全国検査と健康展を終えて	5・6
医学検査学会を振り返って	2・3	表彰	6
秋田県学会賞	3	編集後記	6
県学会を終え	4		

新年のご挨拶

(一社) 秋田県臨床検査技師会 会長 藤田秀文

2020東京オリンピックの年を迎えました。明けましておめでとうございます。皆様は、本年をどの様な年にしたいか様々な心境でお正月を過ごされた事と思います。

さて、昨年秋田県臨床検査技師会では「全国検査と健康展in秋田」を開催し、例年通りの健康チェックに加えて職業体験を企画して、県民の皆様には「臨床検査」を御理解いただく良い機会だったと思っております。主催者日臨技の意向を反映しての職業体験の取り組みでしたが、企画しながら思う事は「未来を担うこの子どもたちに、輝く臨床検査を継承したい」という思いでした。AIの普及により、医療現場の労働環境は大きく変化すると予想され、これまで臨床検査技師が行ってきた業務は、今後はAIが的確に正確に判断し、実践してくれる時代となるでしょう。そこで懸念されているのが「AIが普及すると我々の職種がなくなる」といった意見ですが、AIはあくまで「道具」であり「道具」には必ず「使う人」が必要となる。つまりAIは我々にとって仕事を奪う「脅威」ではなく、人間と「共存」していく存在となっていくと予想されます。臨床検査技師がこれからのAI時代を生き残るためにはAIを活用できる人材となる事が必須です。将来の臨床検査技師は、AIと共に「コミュニケーション力」を磨き患者の近い場所で業務を実践し、他医療職に信頼される職種になっていく事が重要と考えます。昨年顕微鏡を覗いてワクワクした子供たちには、そんな未来の臨床検査技師像を残したいと思いました。

さて、4月25日(土)26日(日)は仙台で日本医学検査学会が開催されます。秋田県からも18題の演題が登録されており、地元北日本開催への期待感が見えます。会員の皆様は、是非とも全国学会へ足を運んで頂き最新の知見とBIGな全国の雰囲気味わって頂ければと思います。

皆様にとりまして新しい年が更に良い年になるように祈念致しまして、新年の挨拶とさせていただきます。

第42回 秋田県医学検査学会をふりかえって



実行委員長 鎌田 雅人

第42回秋田県医学検査学会は、令和元年10月26日に秋田市の大町ビルで、『いま臨床検査に求められるもの』のテーマで開催され、全県から258名の会員・賛助会員・協力企業の皆様方に足を運んでもらい、お陰様で盛会裏に終えることができました。今学会の中央支部担当での開催は5年ぶりとなりましたが、当中央支部は4支部の中で会員数をもっとも多い支部であり、今学会においても市内病院を中心に大勢の方々からご協力をいただきました。皆様には本当にご難儀おかけしました。どうもありがとうございます。

今学会は医療の進歩とともに検査も変化していることを感じられる学会だったと思っています。一般演題の発表数も22題と多くの発表があり、会場も2会場に分けて開催いたしました。そのうち本学会でデビューした技師も11名おり、良い研鑽の場となったと思っています。今学会から発表時間も全国学会に合わせて6分としましたが、スムーズに運営できたのも会員の皆様のご協力のお陰だと思っています。



発表内容では斬新な話題もあり、日常の検査の参考になると思われるものも多数ありました。これも日頃、検査に求められていることを考えながら実践、研究、追求している成果と考えております。

午後からは生活習慣病検診従事者講習会も同時開催致しました。関係者の皆様のおかげで、多数の参加をいただ

くことができました。誠にありがとうございます。教育公開講演では、植木重治先生に『何気に奥深い？好酸球の話』のタイトルで、知られざる好酸球の奥深い話を拝聴することができました。そんな中で、好酸球君キャラクター商品の紹介なども交えてお話があり、会場内を笑顔と、そしてたいへん和ませていただきました。植木先生どうもありがとうございました。またランチョンセミナーを4題、レクチャーを4題と御講演をいただいた講師の先生には厚く御礼申し上げます。また今回は機



器展示も行い、充実した学会になりました。御協力をいただいた関係者の皆様には感謝申し上げます。

情報交換会においては146名の皆様にご参加をいただきました。デビュー賞や学会学術賞の授与式に続いて、ビンゴ抽選会の企画も大いに盛り上がり、多くの方々に親睦を深めた事と思います。そして、本学会に多大なご

支援を頂戴しました協力企業や賛助会員、学会に参加していただいた会員の皆様のお陰で学会を無事に開催することができましたこと、中央支部会員一同心より感謝を申し上げます。最後に、秋田県臨床検査技師会の益々の発展と、本検査学会で各賞を受賞された皆様方の御活躍と会員の皆様のさらなる研鑽を祈念いたしまして、お礼とさ



せていただきます。学会へのご支援とご協力、誠にありがとうございました。

秋田県学会賞

学術賞

齋藤 裕之 (秋田赤十字病院)

学術賞・デビュー賞

紺野 純子 (秋田厚生医療センター)

デビュー賞

鈴木 里和 (秋田赤十字病院)

鈴木 花純 (能代厚生医療センター)

千葉 亮 (大曲厚生医療センター)

佐藤 由里子 (大曲厚生医療センター)

佐藤 沙央理 (秋田大学医学部附属病院)

中泉 朋香 (中通総合病院)

原 崇 (秋田厚生医療センター)

鎌田 葉月 (秋田赤十字病院)

石山 史奈 (秋田大学医学部附属病院)

鎌田 晶子 (秋田赤十字病院)

令和初のデビュー賞と学術賞ありがとうございました!!!



紺野 純子

秋田厚生
医療センター

恥ずかしながら勤続21年、超音波に携わって早10年以上?経ってしまいました。

初めての県学会発表でしたので『デビュー賞』という響きに照れながらのエントリーでしたが、上司・同僚に助けられ、なんとか実験からスライド作成までこぎつけ発表の運びとなりました。

当日の会場では緊張はしたものの和やかな雰囲気の中、無事に発表を終えることができました。

今回得た経験を同僚と共有し、更なるスキルアップを目指していきたいと思いました。

県学会に参加して



鎌田 晶子

秋田赤十字病院

入職から三年目の今年、初めて秋田県医学検査学会に参加し、一般演題で発表させていただきました。初めての演題発表でわからないことも多く不安でしたが、先生や先輩方の丁寧なご指導のおかげで、無事に終えることができました。今回の発表を機に、テーマとした検査についての理解が深まり、大変良い機会となりました。他の方の一般演題では、大変興味深い症例や検討

をたくさん聞くことができ、とても勉強になりました。また、自施設では行っていない検査の発表を聞いたのは貴重な機会でした。

午後の講演やセミナーでは、最新の検査技術や検査機器などについてお話がありました。医学も検査機器も日々進歩・進化しているので、それにおいていかれないよう、自分の知識と技術も日々アップデートが必要であると強く感じました。今回の学会で学んだことを今後に活かし、常に向上心を忘れず業務に励みたいと思います。

全国「検査と健康展」in あきた

秋田赤十字病院 佐藤 多佳子

本県における検査と健康展は、例年高齢者を中心に、無料で検査を受けられる機会として開場前から並ぶ人がでるほど認知がすすんでいる。血管年齢や血糖/HbA1c、もの忘れ検査など6項目

目前後の検査を実施し、その後、医師が同席した上で検査結果について臨床検査技師が結果説明を行っている。「検査説明・相談のできる技師」を実践する場となり、さらに保健師による相談も実施している。また、職業理解を促進するため臨床検査技師の紹介映像を流したり、ポスターを掲示したりしている。

今年度は全国大会ということで、実際に臨床検査を体験できるコーナーを設け、ヨーグルトの乳酸菌が動いているのを顕微鏡で見たり、自分の心電図を取ってみたりなどした。また、高校生向けに進路相談コーナーを設置し、臨床検査の大学等から対応してもらったほか、地元アナウンサーによるトークショーや医師による公開講座も実施するなど、例年以上に内容の充実を図った。

無料健康チェックでは、高齢者が多いことから、もの忘れ検査の希望が多いものと思っていたが、今年は「自分がもの忘れなのはもう知っているからやらない」という方が多く、考えさせられた。一方、会場には親子で来場する方々も多く、顕微鏡を覗きながら楽しそうに話をしている姿が印象に残った。進路相談には、



空き椅子がないほど学生が訪れており、次の世代の検査技師、さらに未来の世代への種まきができたと感じている。トークショーでは、健康に結びつく日常の元気な所作を講師と一緒にやってみるなど聴衆を飽きさせない工夫があり、大変好評であった。



午前10時から午後3時まで5時間のイベントであったが、参加者数は延べで約1200名、実数で410名ほどと思われ、会場となった秋田駅前のビルの2つのフロアにほどよい混雑の中で開催できた。

実施内容としては、考えられるほぼすべてのものを組み込んで行うことができ

ているが、今後の課題としては、次世代の検査技師を育てる取り組みをさらに充実させることや、秋田市での実施が最近続いているので、県内の他地区でも開催し、同じように多くの参加者に喜ばれる検査と健康展にしていく必要があると考えている。



令和元年度秋田県環境・保健事業功労者表彰



令和元年度秋田県環境・保健事業功労者表彰を当会員の宮野 勇徳氏（中通病院）が受賞されました。おめでとうございます。

■宮野 勇徳氏（中通病院）

編集後記



例年より暖かく異常気象が続くこのころですが、皆様にはご壮健とのこと何よりも思います。

秋田県医学検査学会、全国検査と健康展などの行事も成功裏に終わり、関係者の皆様は大変お疲れ様でした。来年度はまた人事改選などがありますが、引き続き頑張って頂きたいと思っております。

(市立秋田総合病院 渡辺 義孝)